

No.	15-5-10	場所	高森町市田	次世代への継承キーワード	
名称	決壊した県道飯島飯田線の市田橋			災害現象理解	
災害現象	橋梁の被災			河川	大島川
補足事項				支流	

諏訪市 岡谷市 辰野町 箕輪町 南箕輪村 伊那市 高遠町 長谷村 宮田村 駒ヶ根市 飯島町 中川村 大鹿村 松川町 高森町 豊丘村 喬木村 上村 飯田市 南信濃村 清内路村 阿智村 浪合村 平谷村 下條村 阿南町 売木村 天龍村

概要

高森町吉田地区では、大島川から押し出された土砂が出砂原集落を埋めた。巨岩を積み上げた長さ約 500mにわたる惣兵衛堤防は、200 年以上もこの地域を守ってきたが、竜の背のごとく盛り上がった天竜川は堤防を乗り越え、地上部のほとんどが押し流された。田沢川は鉄砲水により下流一帯が一面河原となり、11 名の犠牲者を出した。

●被害状況の記録：
大島川の洪水で欠潰した県道飯島飯田線（上県道）の市田橋はこの後、自衛隊により大丸山の松の木を使って仮橋が架けられた。

●体験談：河田とき彥
それは正に地獄であった。今でもそのぞっとする様な有様が刻明によみがえって来る。
雨つづきで心配しつつ蚕玉祝の支度をしていると有線で「消防団員は全員出動せよ」とあわただしく呼びかけている。不安な気持ちにて家をとび出すと、家の横の河へは濁流がうづ巻いて押し寄せて来た。近所の人々と必死になって川のあふれるのを防いだが水勢は益々つよくなり、道の石がけがくみ道から畑へ一面水びたしとなり家へ切り込んで来た。その夜は家の危険のため祖母は近所の安全な家に避難してもらい不安な一夜。ハダシでカップ姿でまんじりともせず明けようとした。

（「災害の市田郷」より）

記録



欠潰した市田橋

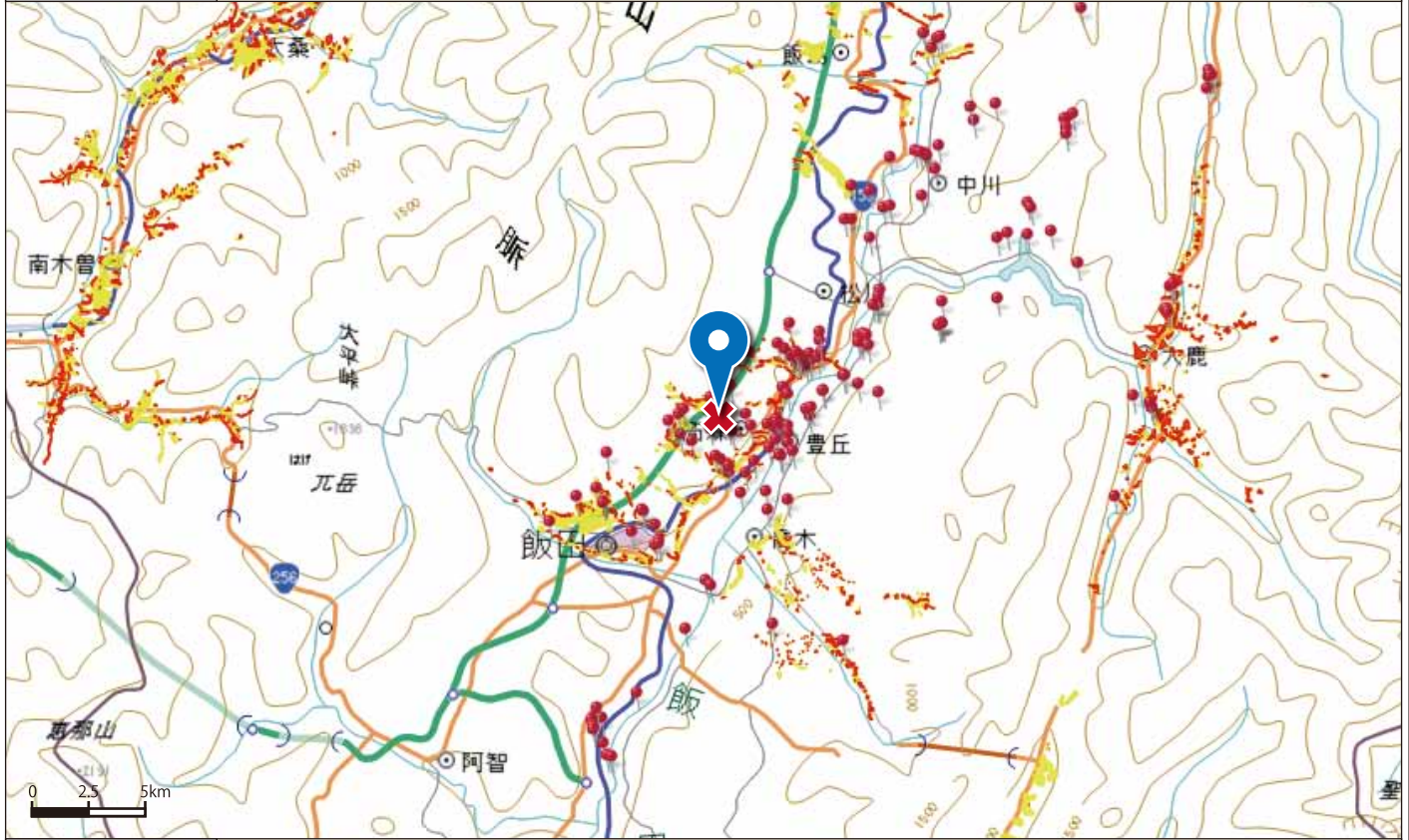
出典 「36 災害 20 周年記念 災害の記録」p.31/「災害の市田郷」p.69

備考

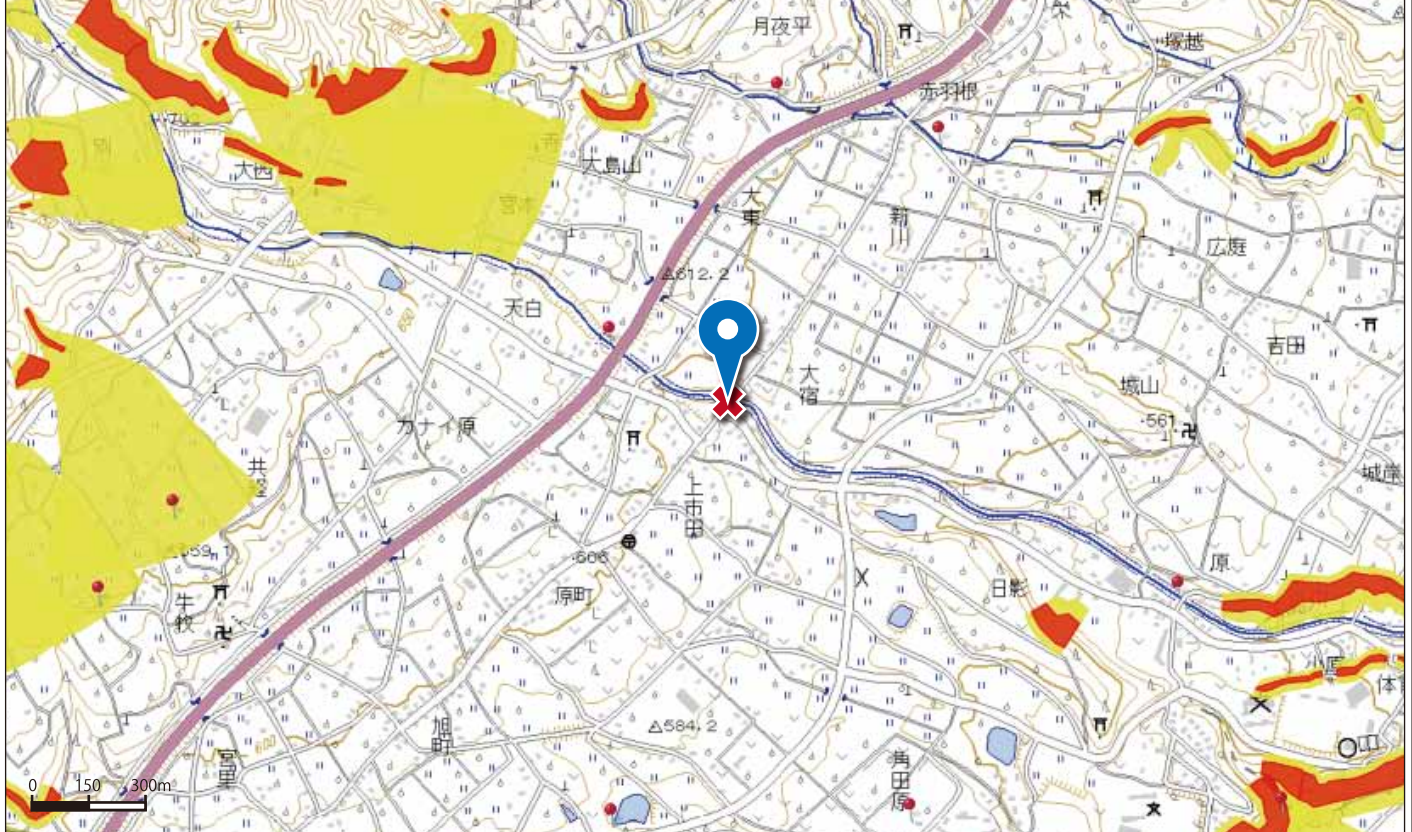
No.	15-5-10	場所	高森町市田	緯度	35.558694
-----	---------	----	-------	----	-----------

名称	決壊した県道飯島飯田線の市田橋	経度	137.862848
----	-----------------	----	------------

地図 広域図



地図 詳細図



備考 上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通称：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。